

スーパースプリント二本勝負!  
過酷な戦場には強いオイルがある



# WTCO LIQUI MOLY Team ニッポン初上陸!

世界ツーリングカー選手権(WTCC)初上陸とともに  
ニッポンにやってきた「LIQUI MOLY Team Engstler」  
世界一エキサイティングなレースでドイツ生まれの技術が光る

## 厳しい条件下でもパーツを保護してくれる LIQUI MOLYは大切なテクニカルパートナー

日本のファンを魅了したツーリングカーレース最高峰の激しいバトル、そこでBMWを走らせる「LIQUI MOLY Team Engstler」を支えているのが、LIQUI MOLYだ。モーターオイルや添加剤などで知られるLIQUI MOLYは母国ドイツでシェアナンバーワンを誇るメーカー。チームオーナーであり、経験豊富なドライバーでもあるフランツ・エングストラとLIQUI MOLYとの関係は非常に深い。

「僕がドイツF3にステップアップした1988年にスポンサーを受けてから、もうLIQUI MOLYとは20年以上の付き合いになる。これほど長いパートナーシップは、レース界でも珍しいんじゃないかな」

そしてWTCCという過酷なフィールドにおけるLIQUI MOLY製品の実力について、エングストラは高く評価し、絶大な信頼を置いている。

「LIQUI MOLYは、我々のマシンにエンジンやミッション用オイルを開発・提供してくれている。もちろんグリスやカーケア製品などもLIQUI MOLY製を使っているよ。特にオイルは、どんなに条件の厳しいレースでも、パーツを保護して温度を低く抑えるという、とても素晴らしい性能を発揮してくれる。我々にとってLIQUI MOLYは単なるスポンサーではなく大切なテクニカルパートナーになっているんだ」



岡山を走った「LIQUI MOLY Team Engstler」のドライバー。左から加納雅樹、アンドレイ・ロマノフ、フランツ・エングストラ。

現在WTCCのほか、アジア、そしてドイツの国内選手権でもLIQUI MOLYカラーのマシンが活躍している。F1をはじめとするモータースポーツとの強固なパートナーシップによって、「LIQUI MOLY」はワールドワイドな認知度を誇るブランドとなっている。



## ドイツでアフターシェアNo.1を誇るエンジンの守護神

日本への本格展開を目指すLIQUI MOLY。マーケティングディレクターのベーター・バウマン氏は「当社は1957年創業、ドイツでナンバーワンのシェアを誇っています。現在は90カ国以上で販売、F1やスポーツカーなどへの参入により、スポーティかつ確固たるプラン

ドイメージを確立しています」と語る。

同社アジア担当マネージャー、ベーター・シュトレルツ氏は「アジアはLIQUI MOLYにとって大きな成長を見込める大切な市場。特に質の高い日本へのビジネス展開は我々にとってチャレンジ」と意欲的だ。

●リキモリトレーディング株式会社 <http://www.lm-trading.co.jp/>

